
魔法の手

文野志暢

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

魔法の手

【Nコード】

N9057G

【作者名】

文野志暢

【あらすじ】

人には皆1つだけ魔法が使えます。

ルミちゃんの家族はみんな魔法が使えます。

お母さんの手は暖かくて優しい魔法が使えます。

お洗濯をしている時は、太陽さんとお話しができる魔法が使え、
お料理をしている時は、楽しいご飯が出来るようにする魔法が使えます。

トン、トン、トン
トン、トン、トン

ほら、台所からいい匂いがしてきました。

今日は、ハンバーグですね。

お父さんの手は力強くて勇気のでる魔法が使えます。

ルミちゃんが泣いていると暖かく包んで勇気をくれる魔法が使え、
そして、ルミちゃんを新しい道へと連れていくことができる魔法が
使えるのです。

ある日、お父さんがルミちゃんを肩車しました。

いつも通る道がお父さんの上だと、とっても違います。

綺麗なお星さまが近くで見えますね。

ルミちゃんはきらきらした魔法が使えます。

お絵かきしている時には絵を見た全ての人が笑顔になれる魔法が使える、

おままごとをしている時には小さなお母さんになれる魔法が使えます。

「ママ、みて。」

また、家族3人が笑っている絵を描いてくれました。

「ルミちゃんは魔法がつかえるね。」

とお母さんが言いました。

するとルミちゃんは、

「パパとママも魔法が使えるよ。」

と、言いました。

みんな、みんな。

たった一つの魔法が使える手を持っています。

誰かを幸せにできる魔法の手。

（後書き）

ここまで読んでくださってありがとうございます。

以前、書いたものを書き直したものです。
まだまだ未熟ですがお願い致します。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n9057g/>

魔法の手

2010年10月11日17時08分発行